

会派「そうま維新」

議会報告会に対するQ&A

震災から3年8ヶ月が経過しましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。10月に「そうま維新」は今年2回目の議会報告会を開催し、市民のみなさまのご意見を伺う貴重な機会を頂戴しました。報告会の後、「そうま維新」は執行部と勉強会で意見を交換するなどし、この回答をまとめましたのでどうぞご覧ください。

相馬市議会会派「そうま維新」の4人のメンバーは、H26年10月2日(木)・3日(金)・7日(火)に、玉野公民館・松川防災集合所・はまなす館において、議会報告会を開催いたしました。自由な対話の中で、皆様から様々なご質問・ご要望をちょうだいいたしました。

1 中村地区報告会

Q1: 公立相馬病院の医師不足にどのように対処しているのでしょうか？

A: 産婦人科や整形外科はじめ医師や看護師が不足しており、みなさまにご不便をおかけしております。現在、病院長や事務部長等が各大学病院などに出向き、派遣をお願いしているところです。公立病院の医師の手配は県が手当てすることから、会派としては医療特区の可能性を検討するなど、医師不足解消に向け、関係機関に働きかけをしていきます。

Q2: 市内の施設に退職職員の姿が多く見受けられます。市の退職職員の再任用・再雇用はどうなっているのでしょうか？

A: 年金制度の改正により年金支給開始の引き上げから、今年度より退職者を再任用する制度が始まっています。市は今年度は退職者15名中7名を再任用し、その他非常勤嘱託職員として2名を再雇用しています。ただし、会派としては、相馬市の新たな施設やNPOの雇用は、市民に広く開かれるよう、今後も努めていきます。

Q3: 市民大学や歴史講座を開設して、もっと市民の学びの場を増やしてほしいのですが…。

A: 施設建設などの復興事業にある程度目途がつきつつあります。会派としては今後ソフト事業にも力を入れていくよう提言していきます。例えば、歴史講座等については、市内高校の郷土部や市民団体などと連携し、各世代に開かれたものになるよう働き掛けていきます。

Q4: 中村城周辺の整備をもっと進めてほしいのですが…。

A: 現在、市はお堀の土砂と浮草を除去する作業を行っています。相馬市には「中村城跡の整備計画」がありません。12月から

■発行: 相馬市市議会議員・会派「そうま維新」【2014年11月24日】



荒 秀一
☎32-5413
fax32-5413



根岸利宗
☎37-3535
fax36-2188



浦島勇一
☎35-4585
fax35-4585



新妻香織
☎64-2042
fax64-2035

検討委員会を立ち上げ、中・長期計画を作る予定になっています。私たちは広く市民の意見が反映できるよう、委員会の推移を見守っていきます。後世に残る中村城になるようみなさまもご意見をお寄せ下さい。

Q5: 子どもアートメゾン(中村2丁目)、Tポイント屋内遊び場(角田公園)、楽天屋内運動場(光陽ソフトボール場脇)など寄贈施設は有効に活用されるのですか？

A: 各施設とも相馬市の子どもたちのために寄贈いただいた施設です。会派としてより広く市民のみなさまに活用いただける施設になるよう提案していきたいと思えます。市民の皆様も気付いた点などご意見をお寄せ下さい。なお、現在使用できる施設は子どもアートメゾンのみです。施設利用については、生涯学習課☎37-2187まで。

2 東部地区報告会

Q6: 近頃の東部地区の治安に住民は不安を抱いています。特に、高平公園(ホテルいちぼう下)の見通しが悪いので何とかしてほしいのですが…。

A: 会派として各方面に働きかけ、さまざまな改善がなされています。道路からの見通しが悪かった植栽は、市が樹木の下部分を刈り取る対策を取りました。また尾浜駐在所に状況を説明し、パトロールのコースに入れてくれるようお願いしました。なお、公園愛護会が月・金曜日に公園の見回りをしてトイレや電灯の管理に努めています。また中村二小のPTAは下校時の巡回もスタートさせています。

Q7: 県道相馬亘理線(出光マルシン石油松川浦店付近)の歩道を確保できないでしょうか？

A: この件は以前から当局に申入れをしてきたところです。花壇の幅が広く、歩道がなく、中学生が自転車で転倒するなど、大変危険な状態であります。福島県としても、地元からの要望も受けていたため、今年度内に花壇の幅を狭め、歩道を確保する改良工事を行うことにしています。

Q8: 市が買取りをした津波の危険区域に草が繁茂して見通しが悪く、交通の支障に

なっています。雑草によるアレルギー一症も年々ひどく、これからの季節は火事が心配です。草刈りをしてほしいのですが…。

A: 危険区域は 110ha にのぼることから、すべての草刈りをするのが困難な状況です。市は交通の支障になるところなどを中心に刈り取りを行うとのこと。会派では草刈りボランティアを呼び掛けますので、みなさま、ぜひご参加ください。

Q9: 漁協に対する市の支援体制は、今後も継続していくのでしょうか？

A: 相馬双葉漁協の建物は H27 年度に完成しますが、建物の管理は指定管理者である相馬双葉漁協が行っていくこととなります。その後の支援について、市は漁協と協議のうえ対応をしていく考えです。

Q10: 県道相馬亘理線の工事に伴い、松川地区へのう回路を表示する看板が地名の表記になっていて、観光客には大変わかりづらいものになっています。表記の工夫ができませんでしょうか？

A: 看板の工夫をするとともに、現場の交通整理の人が最低限の知識を持ってくれるよう当局に申し入れをしました。

3 玉野地区報告会

Q11: 玉野地区の道路整備を早急に進めてほしいのですが…。

A: 玉野地区の道路は、大型車の交差や降雪時のすれ違いに困難がある箇所、トンネルの高さ制限など様々な問題を抱えています。市は H26 年度内に玉野溜池北の市道に待避所(1カ所 10~20m)を 2~3カ

所作る予定です。なお、地区の要望が市にきちんと伝わっていないと思われます。地区として、改めて道路改良の詳細要望を取りまとめてくださるよう、会派としてご提案します。

Q12: 畑(43.35ha)の除染が遅れているが、どうなっているのか？

A: 今年 9 月から畑の除染を開始しており、進捗率は 18%(10 月 15 日現在)です。市は年度内の完了を予定しています。現場の状況を確認して問題があれば、会派のメンバーにもお知らせください。なお、市の担当は農林水産課 ☎37-2146 です。

Q13: 土側溝の線量が高いのですが、除染してもらえないのでしょうか？

A: 現在、土側溝は除染の予定はありません。市は今後の課題として取り組んでいく考えです。

Q14: 宅地の再除染はあるのかどうか伺います。

A: 市は再度、玉野地区の宅地周り 252 件の詳細な線量測定を、11 月末までに終了します。その結果を受けて国と協議を行います。会派では今後も状況を注視していきたいと思えます。詳細は放射能対策室 ☎37-2270 にお尋ねください。

Q15: 玉野小学校・中学校の今後をどう考えているのでしょうか？

A: 教育委員会としては、当面、玉野小・中学校は存続していきますが、地元の声を聞きながら、今後のあり方を検討していくとの

ことです。会派としてもみなさまに寄り添って行動していきたいと考えています。

Q16: 玉野幼稚園についてはどうなるのでしょうか？

A: 現在、玉野幼稚園は休園にしております。市は今後の入園状況を見て対応していくつもりです。幼稚園は義務教育ではないので、通園などの補助がないのが現状です。会派では今後の課題として検討していきます。

Q17: 高速道路の開通に合わせ、直売所のような施設を作ってもらえないでしょうか？

A: 直売所に限らず、地域で主体的に 6 次化や事業を興す動きが具体的にあれば、支援を検討したいと市は考えています。会派では、玉野地区における積極的な地域振興を進めていきたいと考えており、霊山の相馬市側の観光開発を市に提案しています。伊達市並みの遊歩道の整備や観光パンフレット作りなどは、できるだけ早く着手してもらえるよう働きかけます。また森林除染とセットにしたバイオマスは、森林整備や雇用の確保にも役立つと考えており、その可能性も検討していきます。

■ 議会を傍聴しよう。

皆さんもぜひ議会を傍聴し、相馬市や市議会議員の発言をチェックしてください。12 月議会の開会予定は、12 月 1 日です。一般質問は開会した週に 2 日間あり、身近な問題に対して各議員が持ち時間 60 分の中で質問します。一般質問は事前申込みがなくとも傍聴できます。翌週は、総務常任委員会・文教厚生常任委員会・産業建設常任委員会・予算決算常任委員会の 4 つの常任委員会が開催されます。

● 詳細は相馬市議会事務局 ☎37-2177 まで。

Q18: 震災後、今年初めて地区の夏祭りを合同で催しました。協賛金を集めるのも大変な状況で、何か助成はないですか？

A: 福島県地域づくり総合支援事業(サポート事業)が適当と思われます。会派としても支援していきたいと考えています。

■ 市民が理解し易い議会活動を目指して

最近、全国的に「改革」に取り組む地方議会が大変増えています。私たち「そうま維新」は今年の 8 月には会派独自の行政視察地として、3 日間長野県の飯田市、阿智村、泰阜村を訪ね、相馬市の未来のために、少子高齢化社会の課題と先進地の現状、地方自治のあり方、環境エネルギーによるまちづくりを学ぶことができました。また、今年は今回を含め 2 回 7 カ所での「議会報告会」を実践してきました。各地に出向き、市民のみなさまのご意見や、地域の実情を理解することの大事さを痛感しました。心より感謝申し上げます。議会報告会で出た質問・要望に対する回答をみなさまにお届けし、今後の議会活動に活かしてまいります。会派「そうま維新」はどこにも負けない議会活動、議員活動を通して、市民のみなさまにとって身近で開かれた議会を目指していきます。(会長・荒 秀一)